

牛久：学校周辺に見る自然

第8号 ひたち野西隣公園

2017年5月31日発行

< 注目のチョウ、2種類 >

一昨日の午後、ひたち野うしく小の勤務後、一時間程度でしたが久しぶりにみずべ公園を歩きました。そこで、最近注目されているチョウ、2種を見つけました。

一つは、ウラナミアカシジミ。幼虫はクヌギなどの葉を食べるシジミチョウの仲間、以前はこの辺の雑木林でもよく見られたようですが、林の手入れがされなくなったり宅地開発などで年々数が減ってきているそうです。後はねに細長い突起があって、パッと見るとどちらが頭かと迷います。



パッと見ると、どちらが前か迷うウラナミアカシジミ。雑木林の環境悪化で、年々減少している。

もう一つは、中国大陸から人がもちこみ、年々分布をひろげているアカボシゴマダラ。県南部でももうふつうに見かけるようになりましたが、同じく樹液を吸い、幼虫がエノキの葉を食べる日本のゴマダラチョウへの影響が心配されています。

【理科支援員：宮内】



中国大陸原産、アカボシゴマダラの春型。生活が似ている、日本のゴマダラチョウへの影響が心配されている。